

1 . 廃止届出設備の概要

発電所名	号機	出力 (万kW)	運転開始年月	使用燃料	備考
川崎火力 発電所	1号機	17.5	昭和36年7月	L N G	平成17年4月より 長期計画停止
	2号機	17.5	昭和36年10月		平成16年10月より 長期計画停止
	3号機	17.5	昭和37年1月		平成17年4月より 長期計画停止
	4号機	17.5	昭和38年7月		平成16年10月より 長期計画停止
	5号機	17.5	昭和40年10月		平成16年10月より 長期計画停止
	6号機	17.5	昭和43年11月		平成16年10月より 長期計画停止
横須賀火力 発電所	2号機	26.5	昭和37年9月	重油	平成16年10月より 長期計画停止
	2号ガス タービン	14.4	平成15年7月	軽油/ 都市ガス	平成17年10月より 長期計画停止

2 . 川崎火力発電所の概要

(1) 所在地 神奈川県川崎市川崎区千鳥町 5 - 1

(2) 所 長 こばやし たかし
小林 隆

(3) 敷地面積 約 28 万 m²

(4) 最大出力 105.0 万 kW

(5) 出力及び燃料

平成 18 年 3 月 6 日現在

号機	出力 (万 kW)	運転開始年月	使用燃料	備 考
1 号機	17.5	昭和 36 年 7 月	L N G	平成 18 年 3 月 27 日廃止
2 号機	17.5	昭和 36 年 10 月		
3 号機	17.5	昭和 37 年 1 月		
4 号機	17.5	昭和 38 年 7 月		
5 号機	17.5	昭和 40 年 10 月		
6 号機	17.5	昭和 43 年 11 月		

川崎火力発電所のリニューアル

現状の 1 ～ 6 号機を廃止して、敷地内に最新鋭 L N G 火力発電設備 (M A C C ・ 2 系列) を設置する計画です。M A C C (M o r e A d v a n c e d C o m b i n e d C y c l e) とは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた改良型コンバインドサイクル(A C C) 発電システムをベースに、ガスタービン入口温度をさらに高温化した高効率・大容量の発電方式です。ガスタービンの耐熱材料の開発、ガスタービンの蒸気冷却などの技術革新により、1,450 級まで高温化することで、約 53% の熱効率を実現します。

【設備概要】

- ・ 出 力 : 150 万 kW × 2 系列 (1 系列 3 軸構成 合計 300 万 kW)
- ・ 発電設備 : 1,450 級コンバインドサイクル発電設備 (M A C C)
- ・ 使用燃料 : L N G
- ・ 熱 効 率 : 約 53% (低位発熱量基準^(注) : 約 59%)
- ・ 運転開始 : 1 号系列 (19/7 ~ 21/7)、 2 号系列 (26 年度以降)

(注) 低位発熱量基準は、燃料中の水分および燃焼によって生成された水分の凝縮熱を差し引いた低位発熱量を基にした熱効率であり、高位発熱量基準 (約 53%) は、凝縮熱を含めた発熱量を基にした熱効率。

3 . 横須賀火力発電所の概要

(1) 所在地 神奈川県横須賀市久里浜 9 - 2 - 1

(2) 所 長 おおこし いくお
大越 郁男

(3) 敷地面積 約 84 万 m²

(4) 最大出力 253.9 万 k W

(5) 出力及び燃料

平成 18 年 3 月 6 日現在

号機	出力 (万 kW)	運転開始年月	使用燃料	備 考
2 号機	26.5	昭和 37 年 9 月	重油	平成 18 年 3 月 27 日廃止
3 号機	35.0	昭和 39 年 5 月	重油/原油	稼働中
4 号機	35.0	昭和 39 年 7 月		
5 号機	35.0	昭和 41 年 7 月		平成 16 年 10 月より 長期計画停止中
6 号機	35.0	昭和 42 年 1 月		平成 17 年 10 月より 長期計画停止中
7 号機	35.0	昭和 44 年 9 月		
8 号機	35.0	昭和 45 年 1 月		
G/T 1 号	3.0	昭和 46 年 7 月	軽油	稼働中
G/T 2 号	14.4	平成 15 年 7 月	軽油/都市ガス	平成 18 年 3 月 27 日廃止

* 1 号機は平成 16 年 12 月廃止